

平成 24 年 1 月 24 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動が低調に推移し、全体として厳しい状態が続いているものの、観光関連は引き続き好調であり、雇用情勢も緩やかに改善、個人消費は横ばいであるが一部に持ち直しの動きがみられる。

生産活動は、電子部品関連が低迷し、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年を下回った。新車販売台数（乗用車・軽自動車）は前年のエコカー補助金制度の反動減による影響がなくなり、4 カ月連続で前年を上回った。投資関連では、公共工事請負額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。観光入り込み客数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【生産活動】 … 低調

電子部品関連は、円高の影響や海外との競争激化で厳しい状況が続き、受注の動きも依然弱い。

12 月の**生コン生産（出荷量）**は、公共工事向け、民間工事向け出荷ともに前年を下回り、全体で 5.6% 減と 5 カ月連続で前年を下回った。

11 月の**紙パルプ生産**は、2 カ月連続で前年を下回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

11 月の**焼酎生産**は前年を下回ったものの、出荷は前年を上回った。九州新幹線全通効果により土産品に動きがみられる。

11 月の**かつお節生産**は、2 カ月ぶりに前年を上回った。

【畜産関連】 … 弱含み

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移している。一方で、子牛価格は宮崎など県外農家の子牛購入意欲が強く、前年を上回った。豚肉相場は、前年をやや上回っている。ブロイラー相場、鶏卵相場ともに前年を下回っている。

【消費関連】 … 横ばい

11月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は、飲食料品は前年並み、衣料品は前年を下回った。気温が下がらず冬物衣料品の動きが鈍かったことに加え、前年のエコポイント制度縮小前の駆け込みの反動も響き、全体で3.0%減と4カ月連続で前年を下回った。

12月の乗用車新車販売台数は、21.0%増となった。前年のエコカー補助金制度の反動減による影響がなくなり、4カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は32.1%増、小型車は12.2%増となった。また、軽自動車は24.2%増と3カ月連続で前年を上回った。

【観光関連】 … 好調

12月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、14.9%増と7カ月連続で前年を大幅に上回った。鹿児島地区、指宿地区ともに九州新幹線全通効果などにより前年を上回った。特に指宿地区は関西・山陽・福岡など新幹線沿線や関東からの入り込みが伸び、篤姫ブームに沸いた08年とほぼ同水準となった。また霧島地区も関西や山陽、中部からの入り込みが増え、前年を上回った。種子島・屋久島地区は、個人客が減少し前年を下回った。12月の主要観光施設入場者数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【投資関連】 … 弱含み

12月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

11月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額いずれも前年を下回った。11月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回り、全体で26.9%減と3カ月連続で前年を下回った。12月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2カ月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】 … 輸出は持ち直している

11月の**輸出額**は、タイヤ・チューブが前年を下回ったものの、半導体等電子部品が前年を上回り、全体で13.0%増と10カ月連続で前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を下回り、全体で3.7%減と2カ月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

11月の**有効求人倍率**は、医療・福祉に加え、建設業や卸売・小売業で採用を増やす動きがみられ、前月を0.01^{ポイント}上回る0.60倍となり、4年1カ月ぶりに0.6倍台に改善した。ただ、正社員求人の割合が低く、有効求職者数が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 件数は前年を上回った

12月の**企業倒産**は、件数が6件と前年同月（5件）を上回ったものの、負債総額は7億24百万円と大型倒産の発生した前年同月（44億53百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 榊鹿兒島地域経済研究所（TEL 099-225-7491）